

第 115 回 日本医学放射線学会 中国・四国地方会 プログラム

*The Meeting of the Chugoku-Shikoku Regional Chapter of JRS
Yamaguchi 2010*

日 時 : 平成 22 年 12 月 17 日(金)～18 日(土)

場 所 : 海峡メッセ下関

山口県下関市豊前田町 3 丁目 3-1
TEL 083-231-5600

当番世話人 : 松永 尚文

山口大学大学院医学系研究科 情報解析医学系学域
放射線医学分野

【会場までのアクセス】

海峡メッセ下関（国際貿易ビル）

〒750-0018 山口県下関市豊前田町 3 丁目 3-1

TEL:083-231-5600、FAX:083-231-5598

<http://www.kaikyomesse.jp/index.htm>

- 下関駅（JR 在来線）より 徒歩 7 分
- 新下関駅（新幹線）より 車 15 分
- 中国自動車道下関 I.C. より 車 15 分

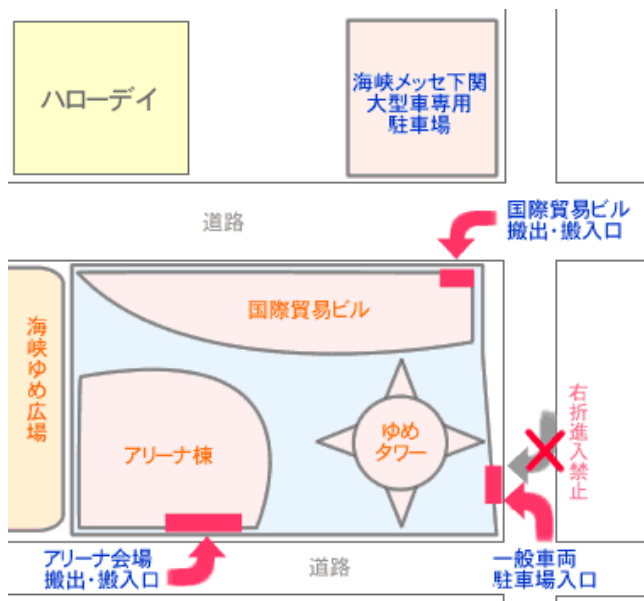
広域マップ



周辺マップ



駐車場案内



駐車場

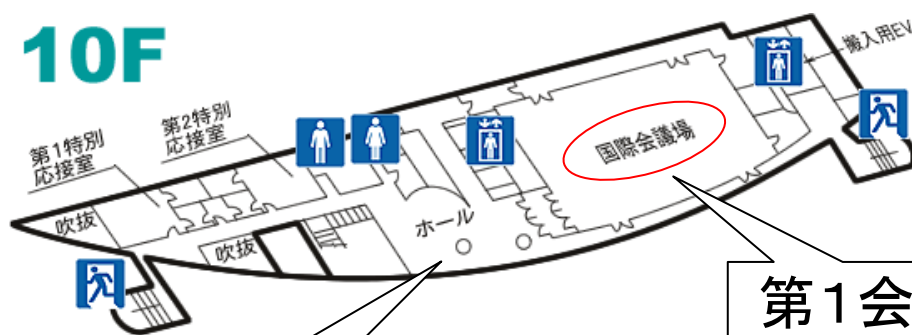
乗用車 150 台

営業 7:30～23:00（最終入庫 21:00）

学会参加者には無料券をお渡しします。
受付にお申し出ください。
（ただし、23:00 以降の駐車はできません）

【会場案内】

10F



第1会場

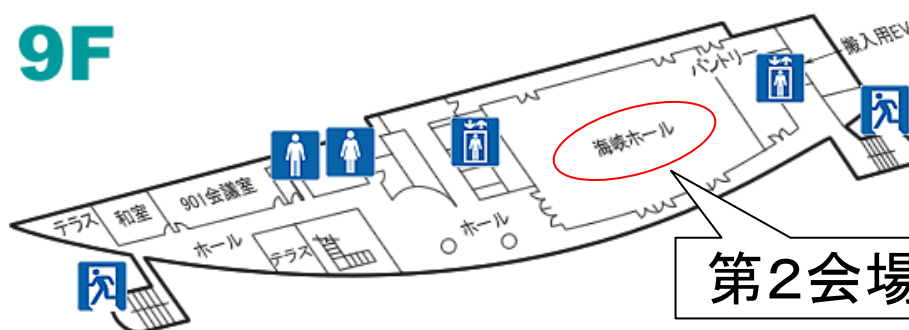
受付、PC 受付
クローク

保管時間

17 日(金): 11:00~19:30

18 日(土): 8:00~16:00

9F



第2会場

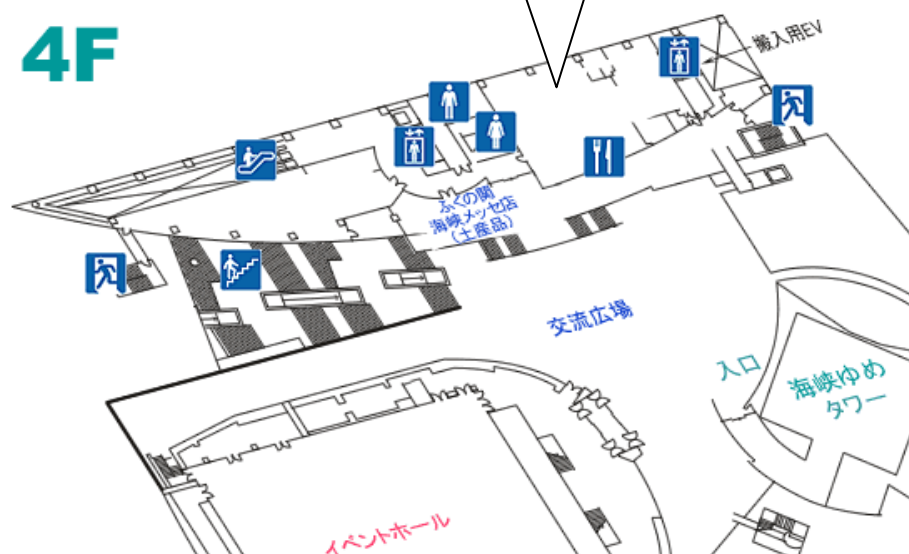
8F

世話人会 会場



情報交換会会場

4F



【日程表】

12月17日(金)

時間	第1会場	第2会場
12:00	12:00-12:05 開会の辞 12:05-13:35 教育セミナー 1 司会：古本大典（広島大学） 1. 核医学総論 奥村能啓（岡山大学） 2. 核医学（肺、心臓） 菅 一能（セントヒル病院） 3. 放射線診断学（心臓） 倉田 聖（愛媛大学）	
13:00	13:45-14:34 腹部骨盤 1 p10 座長：三村秀文（岡山大学）	13:45-14:27 頭部・骨軟部 p14 座長：山砥茂也（山口大学）
14:00	14:35-15:17 腹部骨盤 2 p11 座長：江頭直人（川崎医科大学）	14:28-15:17 核医学・その他 p15 座長：山本由佳（香川大学）
15:00	15:30-16:12 胸部 1 p12 座長：中野 覚（香川大学）	15:30-16:19 IVR 1 p16 座長：大前健一（岩国医療センター）
16:00	16:13-16:55 胸部 2 p13 座長：菊池恵一（愛媛大学）	16:20-17:09 IVR 2 p17 座長：渡部 茂（川崎医科大学）
17:00	17:30-18:30 特別講演 「冠動脈 MDCT 診療における放射線科医と循環器内科医との協働」 講師：三浦俊郎 先生 （山口大学 器官病態内科学） 座長：松永尚文（山口大学）	
18:00		

12:00 ～ 13:00 日本医学放射線学会中国・四国地方会世話人会（8F「805会議室」）

18:30 ～ 19:30 情報交換会（4F「シーガーデンうさぎ」）

※お誘い合わせの上，奮ってご参加下さい。

12月18日(土)

時間	第1会場	第2会場
8:00	8:30-9:30 教育セミナー 2 司会：西岡明人（高知大学） 1. 放射線物理学 中野 覚(香川大) 2. 放射線治療（中枢神経腫瘍） 生島仁史(徳島大)	
9:00		
	9:30-10:19 腹部骨盤 3 p18 座長：竹内麻由美（徳島大学）	9:30-10:19 IVR 3 p21 座長：杉浦公彦（米子医療センター）
10:00		
	10:20-11:02 治療 1 p19 座長：川口篤哉（島根大学）	10:20-11:09 IVR 4 p22 座長：山西伴明（高知大学）
11:00		
	11:03-11:52 治療 2 p20 座長：村上祐司（広島大学）	11:10-11:59 腹部骨盤 4 p23 座長：田中宏明（愛媛大学）
12:00	12:00-12:05 開会の辞	

【受付・演題発表のご案内】

■受付

1. 12月17日（金）は午前11時、18日（土）は午前8時15分より10階にて行います。
2. 参加費は3,000円（情報交換会会費を含む）です。受付時に現金にてお支払いください。
 ネームカード、領収書、出席証明書をお渡しいたします。
3. 技師、看護師、（大学院を除く）学生、研修医は無料です。受付にお申し出ください。
4. クロークは10階にご用意いたします。

■発表

1. 座長の先生方へ

- a. セッションの開始時刻15分前までに座長受付をお済ませ下さい。
- b. 担当セッションの時間管理をお願いいたします。

2. 一般演題の演者の先生方へ

【発表方法について】

- （ア）PCプレゼンテーションにより、各演題につき口演5分、討論2分でお願いします。
- （イ）2枚目のスライド（タイトルの次）に、利益相反報告のスライドを入れて下さい。

【当日の発表について】

- a. 原則、データ（USBメディア）持ち込みとしますが、動画ファイルを使用される方、Macintoshを使用される方は、不具合が生じる恐れがありますので、ご自身のパソコンをお持ち込みください。

- b. 発表データのファイル名は「演題番号 筆頭演者氏名」としてください。

① データ持ち込みの場合

- （ア）Windows 7（PowerPoint 2010）での発表となります。ファイル形式はPowerPointファイル（PowerPoint 2003以上）とします。
- （イ）特殊なフォントを使用されますと、代替フォントに置き換えられ、レイアウトが崩れることがありますので、ご注意ください。
- （ウ）アニメーション、画面切り替えなどの効果は、動作の保障ができませんので、ご了承ください。

② PC持ち込みの場合（動画ファイル使用やMacintosh使用の方）

- （ア）ファイルはデスクトップ上に保存ください。
- （イ）電源ケーブルはお忘れなく、お持ちください。
- （ウ）プロジェクターに接続可能な端子は、ミニD-Sub 15pinのみです。異なる形状の出力端子の場合は、各自変換アダプターをご持参ください。また、キーボード、マウスをUSBにて接続しますので、USB端子が必要となります。



ミニ D-Sub 15 ピン（メス）



USB（Aタイプ）

- (エ) スクリーンセーバー、省電力機能などは、予めオフにしておいて下さい。
- (オ) 画面の解像度は、XGA 1024×768 です。これ以上の解像度はサポートしていません。
- (カ) Macintosh 使用の方は、OS10 以上でお願いいたします。
- (キ) 必ずバックアップデータをお持ちください。持ち込みノートパソコンにてマウス操作、投影等の動作に不具合がある場合に使用いたします。バックアップデータの保存メディアやデータ様式については、上記の＜データ持ち込みの場合＞の項目をご参照ください。
- c. 演題上にモニター、キーボードとマウスを用意しておりますので、発表スライドの操作はご自身でお願いいたします。尚、キーボードおよびマウスは Windows 用を使用するため、Macintosh 持ち込みの場合には、一部キー割当に問題が発生する場合がございます。このため、できる限り、マウスでの操作をお願いいたします。
- d. 発表者は、動作確認を行いますので、ご発表 30 分前までに、PC 受付をお願いいたします。PC 持ち込み場合には、受付終了後、受付横の検証機にて、事前に USB キーボード・マウス動作およびモニター接続確認を行ってください。
- e. PC 持ち込みの場合には、PC 受付を済ませた後、15 分前までに会場オペレータ席へ PC をご持参下さい。発表終了後、オペレータ席にて、PC をお受け取りください。

■抄録

1. 演題番号（省略可）、演題名、所属、発表者、共同演者を含めて 400 字以内でお願いします。
2. テキスト形式、または Word97-2007 形式の電子データのみ受付いたします。
3. 受付方法：電子メールに添付して chushi15@yamaguchi-u.ac.jp にご送信ください。
4. メールの件名：「日医放抄録：○○○○（氏名）」
5. 締切：12 月 10 日（金）

■当番世話人

山口大学大学院医学系研究科 放射線医学分野

松永 尚文

〒755-8505 山口県宇部市南小串 1-1-1

TEL：0836-22-2283、FAX：0836-22-2285

【日程のご案内】

■ 世話人会

日時： 12月17日（金） 12:00～13:00

会場： 8階 805 会議室

■ 教育セミナー

本セミナーの趣旨は、放射線科専門医試験（主に一次試験）をパスするために必要な知識を習得することです。長期的には、放射線科専門医教育ガイドライン^{*}に沿って、4年間で1サイクルとして専門医試験に必要な項目を網羅することを目指しています。

今回も、中国・四国地方から5人の先生方を講師にお招きし、過去に出題された問題と関連知識をお話いただけることとなりました。受験をひかえた先生はもちろんのこと、放射線医学を学び始めた研修医の方から、さまざまな専門分野で活躍されているエキスパートの先生まで、諸先生方の知識の整理に役立つこの機会に、皆さまの積極的なご参加をお待ちいたしております。

※ 放射線科専門医教育ガイドライン <http://www.radiology.jp/modules/news/article.php?storyid=301>

教育セミナー 1

日時： 12月17日（金） 12:05 ～ 13:35

※ 昼食をご用意しております。

会場： 第1会場（10階 国際会議場）

司会： 古本大典（広島大学）

1. 「核医学（総論）」
2. 「核医学（肺、心臓）」
3. 「放射線診断学（心臓）」

講師：奥村 能啓（岡山大学）

講師：菅 一能（セントヒル病院）

講師：倉田 聖（愛媛大学）

（共催：バイエル薬品株式会社）

教育セミナー 2

日時： 12月18日（土） 8:30 ～ 9:30

※ 朝食をご用意しております。

会場： 第1会場（10階 国際会議場）

司会： 西岡明人（高知大学）

1. 「放射線物理学」

講師：中野 覚（香川大学）

2. 「放射線腫瘍学（放射線治療）中枢神経腫瘍」

講師：生島仁史（徳島大学）

（共催：第一三共株式会社）

■ 特別講演

「冠動脈 MDCT 診療における放射線科医と循環器内科医との協働」

講師：三浦 俊郎（山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学 准教授）

日時： 12月17日（金） 17:30～18:30

会場： 第1会場（10階 国際会議場）

（共催：エーザイ株式会社）

■放射線治療懇話会

日 時： 12 月 18 日(土) 13:00～15:30

会 場： 第 1 会場（10 階 国際会議場）

当番世話人： 沖本 智昭（山口大学医学部附属病院 放射線科）

I. 討論会（13:00～14:00）

司会：沖本 智昭（山口大学医学部附属病院 放射線科）

『前立腺 IMRT の均てん化に向けて:医師・技師・物理士による徹底討論』

II. 特別講演（14:10～15:30）

座長：永田 靖（広島大学大学院医歯薬学総合研究科放射線腫瘍学）

『前立腺癌に対する外部照射・強度変調放射線治療について考える』

講師：中村 和正（九州大学病院 別府先進医療センター 放射線科）

※ 本会は日本医学放射線学会放射線科専門医更新のための 3 単位が認められております

※ 本会は日本放射線治療専門技師認定機構に年間 1 単位が認められております。

共催 中国・四国放射線治療懇話会
中国・四国放射線治療研究会
エーザイ株式会社

座長: 三村秀文(岡山大学)

1. 肝腺腫に肝細胞癌が合併した1例

山口大 放	西川正子、田辺昌寛、松永尚文
同 消化器・腫瘍外	前田祥成、為佐卓夫
同 病理部	権藤俊一

2. PTPE後に腹壁播種再発したHCCの1例

四国がんセ 放	梶原 誠、菅原 敬文、井上 武、高橋 忠章
	酒井伸也
南松山病 放	青野祥司
四国がんセ 消内	灘野成人
同 病理	西村理恵
同 消外	棚田 稔

3. Gd-EOB-DTPA造影MRIとソナゾイド造影超音波で経過を見た正常肝に発生した肝細胞癌の1例

川崎医大 放	植木 愛、玉田 勉、檜垣 篤、神吉昭彦
	田中冬樹、谷本大吾、東 浩樹、伊東克能

4. Gd-EOB-DTPA肝細胞造影相を用いた肝MRボリューメトリーの初期検討

広島市民病 放	松浦範明、砂盛 浩、浦島正喜、松浦明子
	大成 妙、梶原賢司、岡部智行、松浦寛司
	影本正之
広島大 放診	栗井和夫

5. HCCに対するRFA後局所再発を疑った炎症性偽腫瘍の1例

広島市民病 放	梶原賢司、浦島正喜、影本正之、松浦寛司
	松浦明子、松浦範明、大成 妙、岡部智行

6. 巨大肝血管腫の1例

香川労災病 放	與座喜一郎、影山淳一、兼田大輔、井藤千里
	三谷昌弘

7. 肝病変を認めたサルコイドーシスの1例

岡山市立市民病 放	羽原理佐、上田裕之、小林由季
同 内	狩山和也、和田 望
同 病	小田和歌子

座長: 江頭直人(川崎医科大学)

8. 胃十二指腸重積を生じたPeutz-Jeghers症候群の1小児例

広島大 放診 谷 千尋、野崎茉莉、西亀正代、中村優子
石川美保、石川雅基、古本大典、谷為恵三
柿沢秀明、高須深雪、伊達秀二、丸川和志
栗井和夫

9. GIST 5症例の検討

松山赤十字病 放 起塚香子、吉岡真二、清水輝彦、浦島雄介
村田繁利

10. 盲腸捻転の2例

岩国医療セ 放 大前健一、小松めぐみ、尾形 毅
岡山大 放 金澤 右

11. 腫瘍性病変を呈した増殖性膀胱炎の1例

山口県立総合医療セ 放 岸 堯之、三浦剛史、佃 利信
同 泌 山本光孝、福永康二
同 病 亀井敏昭

12. 子宮体癌のFDG-PET/CT -SUV maxの値に影響を与える要因について-

岡山大 保健 三上朋子、上者郁夫
岡山労災病 放 乗金精一郎
岡山画像診断セ 加地充昌、笹井信也、井田健太郎、松下 利
有岡 匡
岡山大 放 奥村能啓、金澤 右

13. 骨盤放線菌症の3例

三豊総合病 放 中村哲也、山路早苗、田尻展久
同 産婦 石原剛
同 病 宮谷克也
岡山大 放 金澤 右

座長: 中野 覚(香川大学)

14. 医学部学生 of 胸部画像臨床実習方法について

香川県立保健医療大 看 佐藤 功

15. 赤芽球ろうに合併したMulticentric Castleman's diseaseの1例

愛媛大 放 松田卓也、井手香奈、望月輝人

16. 冠動脈病変を伴ったIgG4関連疾患と考えられた1例

JA広島総合病 画診 海地陽子、土田恭幸、太刀掛俊浩、鈴木孝之
藤川光一

17. 肺ムコール症の1例

川崎医大 画診 八十川和哉、谷本大吾、山本 卓、岡本聡子
江頭直人、東 浩樹、玉田 勉、伊東克能

18. Wegener肉芽腫症の1例

中国中央病 放 安藤由智、水田昭文
岡山大 放 金澤 右

19. 硬化性血管腫を背景とした内分泌腫瘍の1例

徳島赤十字病 放 村上千尋、生野雅也、木下光博、阿部洋子
倉田直樹、尾崎享祐、池山鎮夫、谷 勇人
大西範生、城野良三

座長: 菊池恵一(愛媛大学)

20. 原発性気管腫瘍の1例

鳥取大 放 仲松 暁、三好秀直、柿手 卓、福永 健
太田靖利、神納敏夫、小川敏英

21. 気管支内腫瘍の1例

愛媛県立中央病 放 川口直人、稲月千尋、小亀雅広、村上忠司
山下 恭、松木弘量、曾我部一郎、石丸良広
菊池隆徳、中村誠治、宮川正男、三木 均

22. Cardiac Myxomaの経験

香川大 放 則兼敬志、安賀文俊、石村茉莉子、新井花江
亀山麗子、戸上太郎、室田真希子、内ノ村聡
福永浩太郎、木村成秀、川瀬良郎、中野 寛
山本由佳、外山芳弘、西山佳宏

23. 稀な組織所見を呈した線維腺腫の1例

川崎医大 画診 岡本聡子、江頭直人、八十川和哉、山本 卓
谷本大吾、東 浩樹、玉田 勉、伊東克能

24. 縦隔内に発生したangiosarcomaの1例

川崎医大 画診 山本 卓、谷本大吾、八十川和哉、岡本聡子
江頭直人、東 浩樹、玉田 勉、伊東克能

25. FDG-PETで低集積を示し、鑑別診断に苦慮した肺膠様腺癌の1例

島根大 放 福庭栄治、石橋恵美、荒木和美、深澤優子
神山和俊、勝部 敬、山本伸子、中村 恩
和田昭彦、鶴崎正勝、吉廻 毅、北垣 一

座長: 山砥茂也(山口大学)

26. 尾状核に萎縮・石灰化を呈したCNSループスの1例

山口大 放 山砥茂也、飯田悦史、重本蓉子、松永尚文

27. 髄質静脈奇形に併存する微小低信号域 —3T磁化率強調像を用いた検討—

鳥取大 放 高杉麻利恵、藤井進也、金崎佳子、北尾慎一郎
神納敏夫、小川敏英

28. 多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、パーキンソン病におけるADC値の有用性についての検討

鳥取大 放 塚本和充、松末英司、柿手 卓、仲松 暁
藤井進也、金崎佳子、神納敏夫、小川敏英

29. 腰痛を主訴とする未成年者の腰椎MRIについての検討

高知大 放 村田和子、青山信隆、宮武加苗、耕崎志乃
濱田典彦、小川恭弘
田中整形外科 田中稔正
もりもと整形外科 森本哲郎

30. Myxoinflammatory fibroblastic sarcomaの1例

岡山大 放 新家崇義、多田明博、原田聡介、稲井良太
郷原英夫、加藤勝也、清 哲朗、奥村能啓
佐藤修平、金澤 右
岡山大 形成外 越宗靖二郎、長谷川健二郎
岡山大 病理部 田中健大

31. 非小細胞肺癌がん転移性骨腫瘍に対する放射線治療後の予後/予後因子の検討

岡山大 放 吉尾浩太郎、勝井邦彰、山下真子、多田明博
宗田由子、片山敬久、武本充広、金澤 右

座長: 山本由佳(香川大学)

32. Intravascular lymphomaの2例

愛媛県立中央病 放 菊池隆徳、川口直人、稲月千尋、村上忠司
山下 恭、松木弘量、曾我部一郎、石丸良広
中村誠治、宮川正男、三木 均

33. FDG-PET/CTを施行したdisseminated MACの1例

倉敷中央病 放 百々俊樹、石橋 愛、渡邊祐司、奥村 明
永山雅子、天羽賢樹、石守崇好、中下 悟
藪田 実、坂田昭彦、河村 晃、山田剛史
野橋智美、西松佳代、金重総一郎、河村光栄
廣瀬瑞樹、林 貴史、百々義廣

34. 眼窩領域のF-18-FDG PET/CTの有用性と限界点

セントヒル病 放 菅 一能
山口大 放 松永尚文
同 脳外 梶原浩司
同 神内 大石真莉子
同 眼 藤岡裕士

35. 非線形デフォーメーション加算を使用した胸部息止めF-18-FDG PET/CTスキャン

セントヒル病 放 菅 一能
同 放部 玉井義隆、迫平 篤
山口大 放 松永尚文
千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発セ 羽石秀昭

36. 口腔内癌のCTリンパグラフィの検討

セントヒル病 放 菅 一能
山口大 放 松永尚文
同 歯口外 内田堅一郎、和田範子、宮本寿太郎、弘中雅史
松下明日香

37. 腫瘍のADC値の成因と治療後変化のメカニズムに関するバイオフィantomを用いた検討

岡山大 保健 黒田昌宏、田口勇仁、加藤博和
岡山大 医歯薬学総合研究 佐々木崇了、片嶋和典、芦田昌和、金澤 右
浅海淳一、松崎秀信

38. MRIにおける血液疑似ファントム作成の問題点

香川大 放 石村茉莉子、中野 覚、新井花江、亀山麗子
木村成秀、外山芳弘、西山佳宏

座長: 大前健一(岩国医療センター)

39. MPRを用いたCTガイド下肺生検の工夫

公立八鹿病 放 河合 剛、小山 司、山口耕介
鳥取大 放 小川敏英

40. CT透視下に人工気胸後針生検を行った縦隔腫瘍の1例

徳山中央病 放 折橋典大、安井正泰、中木浩司、山下武則
片山 節

41. CTガイド下脾生検により診断しえた結節性動脈周囲炎の1例

高知大 放 岩佐 瞳、山西伴明、八尋孔幸、田所導子
松井里奈、刈谷真爾、西岡明人、小川恭弘

42. がん診療拠点病院におけるCTガイド下骨生検の現況

四国がんセ 放 井上 武、梶原 誠、中島直美、上津孝太郎
篠原秀一、高橋忠章、酒井伸也、菅原敬文
西村理恵子、寺本典弘

43. 肝RFA後に広範な肉芽組織を形成した1例

岡山大 放 原田聡介、郷原英夫、芝本健太郎、井石龍比古
金澤 右
同 肝胆脾外 内海 方嗣、松田 浩明、八木 孝仁
同 消内 中村 進一郎
同 病理 伏見 聡一郎、松川 昭博

44. 頭頸部癌患者に対するバルンカテーテルを用いた簡便な経皮的胃瘻造設術の有用性について

山口大 放 藤田岳史、田辺昌寛、鷺田康雄、小林大河
加藤雅俊、山砥茂也、小野田秀子、西川正子
重本蓉子、清水建策、松永尚文

45. USを用いたニトログリセリンスプレーによる局所表在動脈拡張効果の検討(カテーテル検査前投薬としての基礎的研究)

広島大 放診 谷為恵三、中村優子、谷 千尋、古本大典
石川雅基、高須深雪、柿沢秀明、伊達秀二
丸川和志、栗井和夫

座長: 渡部 茂(川崎医科大学)

46. アルコールにてPTPEを施行した2症例の検討

中電病 放	西原礼介、福岡治仁、新宅香恵子
広島赤十字・原爆病 放	田村彰久、森正樹
同 外	山下洋一、辻田英司
広島市立広島市民病 放	浦島正喜

47. 挙上空腸静脈瘤に対して塞栓術を施行した2例

広島大 放診	柿沢秀明、石川雅基、伊達秀二、谷為恵三
	古本大典、谷 千尋、中村優子、迫田慈子
	野崎万莉、栗井和夫
呉医療セ 放	稗田雅司

48. 経皮経肝静脈瘤塞栓術を行った直腸静脈瘤の1例

広島記念病 放	小林昌幸
広島市民病 放	梶原賢司
広島記念病 内	児玉英章

49. 経皮的塞栓術による若年者精索静脈瘤の治療経験

香川大 卒後臨床研修セ	松本淳志
香川大 放	内ノ村聡、福永浩太郎、戸上太郎、外山芳弘
	西山佳宏

50. 術後気管胸腔瘻に対するoriginal covered stentが有効であった1例

鳥取大 放	高杉昌平、神納敏夫、橋本政幸、大内泰文
	中村希代志、杉浦公彦、森 有紀、矢田晋作
	足立 憲、遠藤雅之、山本修一、小川敏英
鳥取大 第3内	牧野晴彦
鳥取県立中央病 内	陶山久司
山陰労災病 放	井隼孝司

51. 肝門部悪性胆管狭窄に対し胆管ステント留置を施行した2例

姫路聖マリア病 放	井石龍比古、佐藤卓也、藤江俊司
岩国医療セ 放	大前健一
岡山大 放	金澤 右

52. 緩和的IVRと予後予測

鳥取県立中央病 放	中村一彦、藤原義夫、松末英司
-----------	----------------

座長: 竹内麻由美(徳島大学)

53. 子宮血管肉腫の1例

関門医療セ 放 佐々木克己、河村光俊

54. 成人女性に発生した子宮頸部sarcoma botryoidesの1例

愛媛大 放 中村壮志、平塚義康、菊池恵一、津田孝治
望月輝一

55. 子宮adenosarcomaのMR所見

島根大 放 吉廻 毅、石橋恵美、荒木和美、深澤優子
神山和俊、勝部 敬、山本伸子、福庭栄治
中村 恩、和田昭彦、鶴崎正勝、北垣 一

56. 子宮頸部原発の悪性黒色腫の1例

倉敷中央病 放 百々俊樹、渡邊祐司、奥村 明、永山雅子
天羽賢樹、石守崇好、中下 悟、石橋 愛
藪田 実、坂田昭彦、河村 晃、山田剛史
野橋智美、西松佳代、金重総一郎、河村光栄
廣瀬瑞樹、林 貴史、百々義廣

57. 高齢者に発生した卵巣Sertoli細胞腫の1例

三豊総合病 放 田尻展久、山路早苗、中村哲也

58. MRI jelly法を用いた女性骨盤内消化管癒着の評価 一手術所見との対比を行った15症例のprospective study

松山赤十字病 放 忽那 茂、吉岡真二、起塚香子、清水輝彦
村田繁利

同 産婦 弓削及利人、横山幹文

59. angiomatofibroblastomaの1例

鳥取大 放 金田 祥、藤井進也、福永 健、柿手 卓
神納敏夫、小川敏英

治療 1

第1会場

10:20 ~ 11:02

座長: 川口篤哉(島根大学)

60. 神経膠芽腫に対するテモゾロミド併用放射線治療成績

徳島大 放治 古谷俊介、岩河早保、久保亜貴子、川中 崇
生島仁史
徳島大 脳外 溝渕佳史、影治照喜、永廣信治

61. 放射性ヨード内服療法を施行したPlummer病の1例

島根大 放治 池田 新、横川正樹、川口篤哉、森山正浩
山内美香、北垣 一、内田伸恵

62. 当院における乳房温存術後短期照射の遡及的検討:long time observation

川崎医大 放治 石原武明、余田栄作、小西 圭、釋舎竜司
平塚純一
同 乳腺甲状腺外 園尾博司
倉敷成人病セ 外 村嶋信尚

63. 乳房切除後の術後照射の適応に関する検討

四国がんセ 放 上津孝太郎、濱本 泰、中島直美、梶原 誠
篠原秀一、越智誉司、高橋忠章、酒井伸也
井上 武、菅原敬文、片岡正明
同 乳腺 青儀健二郎、大住省三

64. 当院における子宮頸癌術後局所再発に対する放射線治療

鳥取大 放治 谷野朋彦、道本幸一、田原誉、小谷和彦
小川敏英

65. 子宮頸癌の放射線治療成績の検討

四国がんセ 放 中島直美、片岡正明、濱本 泰、越智誉司
上津孝太郎

座長: 村上祐司(広島大学)

66. 食道癌に対する予定線量60-66Gyの化学放射線治療成績

広島大 放治 村上祐司、永田 靖、西淵いくの、木村智樹
権丈雅浩、兼安祐子

67. 食道癌に対する術前化学放射線療法についての検討

広島市民病 放 岡部智行、松浦寛司、影本正之
安佐市民病 放 伊東 淳

68. 化学療法抵抗性膵癌に対する化学放射線治療の経験

安佐市民病 放 赤木由紀夫、伊東 淳、飯田 慎、直樹邦夫
小野千秋

69. 岡山大学病院における前立腺癌密封小線源永久挿入療法の治療成績

姫路赤十字病 放 片山敬久
岡山大学 放 武本充広、吉尾浩太郎、勝井邦彰、金澤 右
同 泌 能勢宏幸、那須保友、公文裕巳

70. stage C 前立腺癌の当院での治療成績

川崎医大 放治 小西 圭、石原武明、釋舎竜司、余田栄作
常義 政、平塚純一

71. 当院における全身照射の治療経験

愛媛大 放 神崎博充、田口千蔵、西川 敦、藤井 崇
望月 輝一

72. DNA損傷応答におけるクロマチン構造変換

広島大 放治 西淵いくの、木村智樹、村上祐司、権丈雅浩
兼安祐子、永田 靖
広島大 原爆放 田代 聡

座長: 杉浦公彦(米子医療センター)

73. ミリプラチンを用いたLp-TAIの初期治療効果と合併症の検討

広島大 放診 石川雅基、柿沢秀明、山崎 航、野崎万莉
中村優子、迫田慈子、石川美保、谷 千尋
古本大典、谷為恵三、高須深雪、伊達秀二
丸川和志、栗井和夫
呉医療セ 放 稗田雅司

74. HCCに対するミリプラチン-TACEの初期成績

幡多けんみん病 放 片岡優子、坪井伸暁
同 消化器 上田 弘、宮本敬子、森澤 憲、坪井麻記子
羽柴 基、北川達也

75. 肝動注リザーバー治療開始早期に急性総胆管壊死を来した1例

米子医療セ 放 杉浦公彦、森 有紀
鳥取大 放 神納敏夫、大内泰文、矢田晋作、足立 憲
遠藤雅之、高杉昌平、山本修一、小川敏英
米子医療セ 外 木村 修

76. 腹腔内出血を来した肝細胞癌腹膜播種に対し塞栓術を施行した1例

住友別子病 放診 佐野村隆行、細川一枝、加藤 勤
同 内 松本栄二

77. 腹部仮性動脈瘤塞栓時に胸部大動脈にコイルが逸脱した稀な1例

高知大 放 山西伴明、岩佐 瞳、八尋孔幸、鈴木裕介
植博 信、野上宗伸、久保田敬、小川恭弘

78. 膵頭十二指腸切除後の仮性動脈瘤治療により肝膿瘍を形成した1例

倉敷中央病 放 藪田 実、奥村 明、大角真司、守屋隆史
川上雄司、石守崇好、渡邊祐司

79. 腹壁動脈損傷による大量出血に対してTAEを施行した2例

済生会下関総合病 放 箕田俊文、金子隆文、狩野祐一
山口大 放 高橋昌太郎、松永尚文

座長: 山西伴明(高知大学)

80. 妊娠による水腎を契機に出血を来し塞栓術を施行した腎AVMの1例

島根県立中央病 放 安藤慎司、荒木久寿、土江洋二、湯浅貢司
児玉光史

81. 塞栓術を施行した外傷性持続勃起症の1例

山口大 放 田辺昌寛、鷺田康雄、藤田岳史、加藤雅俊
中島好晃、山砥茂也、飯田悦史、岡田宗正
松永尚文
同 泌 白石晃司

82. 胎盤ポリープに対して動脈塞栓術を施行した2例

呉医療セ 放 竹内直子、豊田尚之、稗田雅司

83. 骨盤内AVMに対してNBCA-lipiodolにてTAEを施行した1例

徳山中央病 放 山下武則、安井正泰、中木浩司、折橋典大
片山 節

84. 著明な腸骨動静脈瘻を合併した脊髄動静脈奇形に対し塞栓術を施行した1例

徳島大 放 岩河早保、岩本誠司、山崎浩美、原田太平
能勢隼人、音見暢一、高尾正一郎、大塚秀樹
原田雅史

85. 塞栓術と放射線治療を施行した転移性肩甲骨腫瘍の2例

山口大 放 鷺田康雄、藤田岳史、小林大河、加藤雅俊
田辺昌寛、山砥茂也、中島好晃、沖本智昭
松永尚文

86. 術前血管造影塞栓術を施行した鼓室型グロームス腫瘍の1例

愛媛大 放 田中宏明、平塚義康、津田孝治、望月輝一

座長: 田中宏明(愛媛大学)

87. 合流異常を伴う胆嚢癌の2例

愛媛大 放 武智 恵、津田 孝治、田中 宏明、望月輝一

88. 結核性リンパ節炎による総胆管狭窄の1例

香川労災病 放 井藤千里、影山淳一、與座喜一郎、三谷昌弘

89. 主膵管内に進展した膵腺房細胞癌の1例

山口大 放 重本蓉子、田辺昌寛、西川正子、沖本智昭
藤田岳史、松永尚文
同 消化器病態内 仙誉 学
同 病理 権藤俊一
下関市立中央病 放 上田高顕

90. 両側水腎症を契機に発見されたIgG4関連硬化性疾患の1例

徳島赤十字病 放 木下 光博、生野雅也、村上千尋、阿部洋子
倉田直樹、尾崎享祐、池山鎮夫、谷 勇人
城野良三

91. イレウスを契機に発見された良性多嚢胞性腹膜中皮腫の1例

善通寺病 放 谷脇貴博、安田浩章、須井 修

92. 十二指腸に穿破した感染性腹部大動脈瘤の1例

JA広島総合病 画診 太刀掛俊浩、海地陽子、土田恭幸、鈴木孝之
藤川光一

93. 息止めの相違によるずれの補正におけるナビゲーターエコーの有用性の検討

広島大 放診 中村優子、西亀正代、野崎万莉、迫田慈子
谷 千尋、古本大典、石川美保、石川雅基
谷為恵三、高須深雪、柿沢秀明、伊達秀二
丸川和志、栗井和夫
呉医療セ 豊田尚之

lopamiron[®]
lopamidol



処方せん医薬品^注 非イオン性尿路・血管造影剤（イオパミドール注射液）
注）注意－医師等の処方せんにより使用すること

薬価基準収載

イオパミロン[®]注

150

300

370

300 シリンジ

370 シリンジ

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

本剤の商標は  イタリアの許諾に基づく

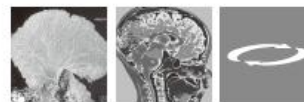
資料請求先
バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<http://www.bayer.co.jp/byl>



Bayer HealthCare
Bayer Schering Pharma

（2010年3月作成）

IOP-10-4001



Guerbet | 

 TERUMO®



MRI用造影剤

薬価基準収載

マグネスコープ®シリンジ

MAGNESCOPE® SYRINGE

(ガドテル酸メグルミン注射液)

処方せん医薬品^{注)}

注) 処方せん医薬品：注意－医師等の処方せんにより使用すること

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌（原則禁忌を含む）および使用上の注意等の詳細につきましては、添付文書をご参照ください。

製造販売元

ゲルベ・ジャパン株式会社 東京都千代田区麹町4丁目5番10号

<http://www.guerbet.co.jp/>

販売元（資料請求先）

テルモ株式会社 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号 <http://www.terumo.co.jp/>

Ⓣ、TERUMO はテルモ株式会社の登録商標です。

マグネスコープ、MAGNESCOPEはゲルベ・ジャパン株式会社の登録商標です。

© テルモ株式会社 2010年4月

DOTAREM®

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

たった1回転で全脳が診える。心臓が診える。

Area Detectorが、1回転で全脳も心臓もフルカバー。
ヘリカルもマルチも超えた、「Aquilion ONE™」の登場です。



ONE
Aquilion
Area Detector CT



東芝メディカルシステムズ株式会社
本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地
<http://www.toshiba-medical.co.jp>

認証番号：219ACBZX00029000 東芝スキャナAquilion ONE TSX-301A

がん領域の製品ラインナップ

前立腺癌治療剤 創薬・処方せん医薬品*
オダイン錠 125mg
 フルタミド製剤
 Odyne® Tab. 125mg

乳癌治療剤 創薬・処方せん医薬品*
フェアストン錠 40・60
 トレミフェンゲン酸塩製剤
 Fareston® Tab. 40・60

抗悪性腫瘍剤 毒薬・処方せん医薬品*
ランダ®錠 10mg/20mL
 25mg/50mL
 50mg/100mL
 シスプラチン製剤
 Randa® Inj. 10mg/20mL・25mg/50mL・50mg/100mL

前立腺癌治療剤 創薬・処方せん医薬品*
ビカルタミド錠 80mg「NK」
 Bicalutamide Tab. 80mg「NK」

抗悪性腫瘍抗生物質製剤 創薬・処方せん医薬品*
ピノルビン®注射用 10mg
 20mg
 注射用ビラルビシン塩酸塩
 Pinorubin® for Inj. 10mg・20mg

抗悪性腫瘍剤 毒薬・処方せん医薬品*
動注用アイエーコール® 50mg
 100mg
 シスプラチン製剤
 IA-call® 50mg・100mg

抗腫瘍性抗生物質 創薬・処方せん医薬品*
ブレオ注射用 5mg・15mg・30mg
 Bleo for Inj. 5mg・15mg・30mg

抗腫瘍性抗生物質製剤 創薬・処方せん医薬品*
エピルビシン塩酸塩注射用 10mg
 50mg「NK」
 注射用エピルビシン塩酸塩
 Epirubicin

抗悪性腫瘍剤 毒薬・処方せん医薬品*
カルボプラチン点滴静注液 50mg
 150mg
 450mg「NK」
 カルボプラチン製剤
 Carboplatin

抗腫瘍性抗生物質 創薬・処方せん医薬品*
ヘブレオ注射用 5mg・10mg
 日本薬局方 注射用ペロマイシン硫酸塩
 Pepleo for Inj. 5mg・10mg

抗腫瘍性抗生物質製剤 創薬・処方せん医薬品*
エピルビシン塩酸塩注射液 10mg・5mL
 50mg・25mL「NK」
 エピルビシン塩酸塩注射液
 Epirubicin

ピンカアルカロイド系抗悪性腫瘍剤 毒薬・処方せん医薬品*
ロゼウス 静注液 10mg・40mg
 ビノレルビン酒石酸塩静注液
 Rozeus® Intravenous Solution 10mg・40mg

抗悪性腫瘍剤 創薬・処方せん医薬品*
ドキシルビシン 塩酸塩注射用 10mg
 50mg「NK」
 日本薬局方 注射用ドキシルビシン塩酸塩
 Doxorubicin Hydrochloride for Injection 10mg・50mg「NK」

抗悪性腫瘍剤 創薬・処方せん医薬品*
ラストレットSカプセル 25mg・50mg
 エドキシド製剤
 Lastet® S Cap. 25mg・50mg

抗悪性腫瘍剤 創薬・処方せん医薬品*
ラストレット錠 100mg/5mL
 エドキシド製剤
 Lastet® Tab. 100mg/5mL

前立腺癌治療剤 創薬・処方せん医薬品*
ビアセチルカプセル 156.7mg
 エストラムスタンリン酸エステルナトリウム水和物製剤
 Biasetyl® Cap. 156.7mg

抗悪性腫瘍剤 創薬・処方せん医薬品*
irinotecan 塩酸塩点滴静注液 40mg
 100mg「NK」
 irinotecan 塩酸塩水和物点滴静注液
 Irinotecan for I.V. Infusion 40mg・100mg「NK」

抗悪性腫瘍剤 毒薬・処方せん医薬品*
パクリタキセル 注 30mg/5mL
 100mg/16.7mL「NK」
 パクリタキセル製剤
 Paclitaxel Inj. 30mg/5mL・100mg/16.7mL「NK」

抗悪性腫瘍剤 創薬・処方せん医薬品*
エクザール®注射用 10mg
 日本薬局方 注射用ビンブラスチン硫酸塩
 Exal® for Inj. 10mg

抗悪性腫瘍剤 創薬・処方せん医薬品*
ハイカムチン®注射用 1.1mg
 Hycamtin® for injection 1.1mg
 ノギテカン塩酸塩製剤

抗悪性腫瘍剤 創薬・処方せん医薬品*
コホリン® 静注用 7.5mg
 ベントスタチン注射剤
 Coforin

抗悪性腫瘍剤 創薬・処方せん医薬品*
オンコビン®注射用 1mg
 ビンクリスチン硫酸塩製剤
 Oncovin® for Inj. 1mg

抗悪性腫瘍性抗生物質 創薬・処方せん医薬品*
カルセド®注射用 20mg・50mg
 注射用アムルビシン塩酸塩
 Calsed® for Inj. 20mg・50mg

抗悪性腫瘍剤 創薬・処方せん医薬品*
ベストチンカプセル 10mg・30mg
 日本薬局方 ラベニメタスカプセル
 Bestatin® Cap. 10mg・30mg

放射性医薬品・骨転移疼痛緩和剤
メタストロン®注
 放射性医薬品基準塩化ストロンチウム(89Sr)注射液

抗悪性腫瘍剤 創薬・処方せん医薬品*
スタラシド®カプセル 50・100
 シタラピン オクホスファート水和物製剤
 Starasid® Cap. 50・100

5-HT₃ 受容体拮抗型制吐剤 創薬・処方せん医薬品*
グラニセトロン点滴静注液 3mg バッグ「NK」
 グラニセトロン塩酸塩注射液

5-HT₃ 受容体拮抗型制吐剤 創薬・処方せん医薬品*
グラニセトロン 静注液 1mg・3mg
 1mgシリンジ 3mgシリンジ「NK」
 グラニセトロン塩酸塩注射液

高度管理医療機器 35449004 材料価格基準収載
 中心循環系血管内塞栓促進用補綴材
ジェルパート®
 Gelpart®

資料請求先 **日本化薬株式会社**
 東京都千代田区富士見一丁目11番2号

*注意-医師等の処方せんにより使用すること

※10.5作成

※警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意などは、製品添付文書をご参照ください。



GEMZAR[®]

[gemcitabine]

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。



代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤

劇薬 / 処方せん医薬品 (注意—医師等の処方せんにより使用すること)

薬価基準収載

ジェムザール[®]

注射用200mg
注射用1g

Gemzar[®] Injection (注射用ゲムシタピン塩酸塩)

ジェムザール[®] GEMZAR[®] は Eli Lilly and Company の登録商標です

製造販売元〈資料請求先〉

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番5号

Lilly Answers リリーアンサーズ

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口

0120-360-605 (医療関係者向け)

受付時間: 月～金 8:45～17:30

ALIMTA[®]
pemetrexed



「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。

代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤

劇薬/処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

薬価基準収載

アリムタ[®] 注射用 500mg

Alimta[®] Injection (注射用ペメトレキセドナトリウム水和物)

アリムタ[®] ALIMTA[®] は Eli Lilly and Company の登録商標です

製造販売元〈資料請求先〉

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番5号

Lilly Answers リリーアンサーズ

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口

0120-360-605 (医療関係者向け)

受付時間：月～金 8:45～17:30

Lilly



中外製薬

ロシュグループ



遺伝子組換えヒトG-CSF製剤

生物由来製品・処方せん医薬品^{注)}

薬価基準収載

ノイトロジン[®] 注 50 μ g
100 μ g
250 μ g

NEUTROGIN[®]

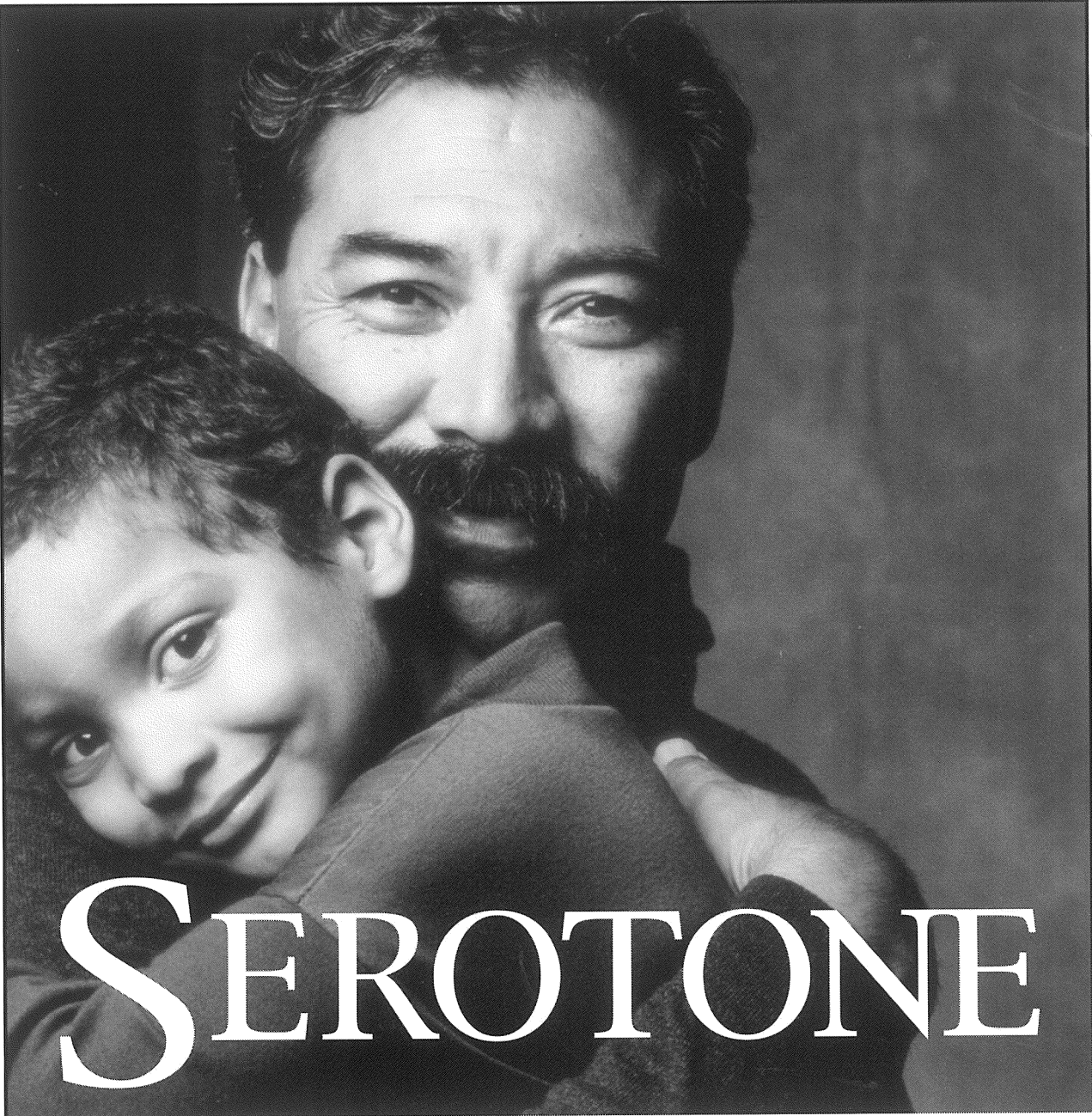
レノグラスチム(遺伝子組換え)製剤

注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「【禁忌】を含む使用上の注意」等につきましては、添付文書をご参照下さい。

<http://www.chugai-pharm.co.jp>

製造販売元 (資料請求先)
中外製薬株式会社
〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1



SEROTONE



5-HT₃アンタゴニスト(制吐剤)

薬価基準収載

セロトーン[®]

静注液10mg
錠10mg

処方せん医薬品(注意—医師等の処方せんにより使用すること)

Serotone[®]

(アザセトロン塩酸塩)

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。



販売元(資料請求先)
鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1



製造販売元
日本たばこ産業株式会社
東京都港区虎ノ門二丁目2番1号

In patients with bone metastases
DAILY LIFE IS PRECIOUS
HANDLE with ZOMETA

骨をターゲットにした治療が、骨転移の患者さんをまもりまします

【警告】

1. 本剤は点滴静脈内注射のみに用いること。また、投与は必ず15分間以上かけて行うこと。【5分間で点滴静脈内注射した外国の臨床試験で、急性腎不全が発現した例が報告されている。】
2. 悪性腫瘍による高カルシウム血症患者に本剤を投与する場合には、高カルシウム血症による脱水症状を是正するため、輸液過量負荷による心機能への影響を留意しつつ十分な補液治療を行った上で本剤を投与すること。

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

1. 本剤の成分又は他のビスホスホン酸塩に対し、過敏症の既往歴のある患者
2. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効能又は効果】

1. 悪性腫瘍による高カルシウム血症
2. 多発性骨腫瘍による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変

【用法及び用量】

1. 悪性腫瘍による高カルシウム血症
通常、成人にはゾレドロン酸として4mgを日局生理食塩水又は日局ブドウ糖注射液（5%）100mLに希釈し、15分以上かけて点滴静脈内投与する。なお、再投与が必要な場合には、初回投与による反応を確認するために少なくとも1週間の投与間隔をおくこと。
2. 多発性骨腫瘍による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変
通常、成人にはゾレドロン酸として4mgを日局生理食塩水又は日局ブドウ糖注射液（5%）100mLに希釈し、15分以上かけて3～4週間間隔で点滴静脈内投与する。

＜用法・用量に関連する使用上の注意＞

1. 軽症（血清補正カルシウム値1.2mg/dL未満）の高カルシウム血症患者では、補液による治療が効果不十分で症状の改善がみられないなど本剤の投与が必要と判断される場合に投与すること。
2. 悪性腫瘍による高カルシウム血症患者に本剤を再投与する場合、初回投与と同様に4mgを点滴静脈内投与すること。【日本人で4mgを超えた用量の再投与及び3回以上の投与の使用経験がない。】
3. 腎機能障害患者では、血漿中濃度が増加するので、高カルシウム血症の治療に用いる場合を除き、腎機能の低下に応じて、下表のとおり投与量を調節すること。

	クレアチニンクリアランス（mL/分）			
	>60	50-60	40-49	30-39
推奨用量	4mg	3.5mg	3.3mg	3.0mg

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
重篤な腎障害のある患者（腎機能が悪化するおそれがある。多発性骨腫瘍及び固形癌骨転移患者で血清クレアチニンが3.0mg/dL以上、悪性腫瘍による高カルシウム血症患者で血清クレアチニンが4.5mg/dL以上の患者での十分な使用経験がないので、このような患者に対しては状態を観察しながら慎重に投与すること。）
2. 重要な基本的注意
(1) がん治療に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の使用が適切と判断される症例についてのみ使用すること。
(2) 本剤の各投与前に腎機能検査（血清クレアチニン、BUN等）を行うこと。また、本剤投与後は定期的に腎機能検査（血清クレアチニン、BUN等）を行うこと。本剤投与後に腎機能が悪化した場合には、投与を中止するなど、適切な処置を行うこと。
(3) 多発性骨腫瘍及び固形癌骨転移患者において本剤を継続投与する場合、投与前に腎

機能障害のある患者では、血清クレアチニンが投与前値から1.0mg/dL以上、腎機能が正常な患者では、血清クレアチニンが投与前値から0.5mg/dL以上上昇した場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

- (4) 本剤投与後は、血清カルシウム、リン、マグネシウム、カリウム等の変動に注意すること。本剤投与により、低カルシウム血症が投与後4～10日目頃に出現する可能性があるため、血清カルシウム値には特に注意すること。なお、多発性骨腫瘍による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変を有する患者に対しては、必要に応じてカルシウム及びビタミンDを補給させるよう指導すること。
- (5) 臨床症状（テタニー、手指のしびれ等）を伴う低カルシウム血症があらわれた場合にはカルシウム剤の点滴投与が有効である。
- (6) 本剤を含むビスホスホン酸系薬剤による治療を受けている患者において、顎骨壊死・顎骨骨髄炎があらわれることがある。報告された症例のほとんどが抜歯等の歯科処置や局所感染に関連して発現しており、また、静脈内投与された癌患者がほとんどであったが、経口投与された骨粗鬆症患者等においても報告されている。リスク因子としては、悪性腫瘍、化学療法、コルチステロイド治療、放射線療法、口腔の不衛生、歯科処置の既往等が知られている。本剤の投与にあたっては、必要に応じて適切な歯科検査を行い、本剤投与中は侵襲的な歯科処置はできる限り避けること。また、患者に十分な説明を行い、異常が認められた場合には、直ちに歯科・口腔外科に受診するよう注意すること。
- (7) 多発性骨腫瘍及び固形癌骨転移患者において本剤を投与する場合、化学療法あるいは内分泌療法等の抗癌療法と併用することが望ましい。

3. 相互作用

併用注意（併用に注意すること） ●カルシウム製剤（カルシウム・エルカトニン・サケカルシトニン） ●アミノグリコシド系抗生物質（ゲンタマイシン等） ●シナカルセト ●サリドマイド（国内未承認）

4. 副作用

(1) 重大な副作用

- 1) 急性腎不全：急性腎不全等の腎障害（1%～10%未満）があらわれることがあるので、このような場合には、投与を中止するなど、適切な処置を行うこと。
- 2) うっ血性心不全（浮腫、呼吸困難、肺水腫）（頻度不明）：輸液過量負荷によりうっ血性心不全（浮腫、呼吸困難、肺水腫）があらわれることがあるので、このような場合には、適切な処置を行うこと。
- 3) 顎骨壊死・顎骨骨髄炎：顎骨壊死・顎骨骨髄炎があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど、適切な処置を行うこと。

【承認条件】悪性腫瘍による高カルシウム血症について

市販後の一定期間は、使用症例の全例を登録して市販後調査を実施し、有効性及び安全性について調査すると共に、腎機能障害を有する患者等の患者背景の違いにおける安全性、再投与時の安全性、並びに腎機能障害、低カルシウム血症等の重篤な副作用の発生について検討を行い、本薬の適正使用に必要な措置を講じること。

●その他の使用上の注意等は添付文書をご覧ください。

骨吸収抑制剤

薬価基準収載

ゾメタ[®] 点滴静注用 4mg

劇薬 処方せん医薬品 注意—医師等の処方せんにより使用すること。

ZOMETA[®] for i.v. infusion 4mg

ゾレドロン酸水和物注射液

製造販売 ノバルティス ファーマ株式会社
東京都港区西麻布4-17-30 〒106-8618

資料請求先

NOVARTIS DIRECT

☎ 0120-003-293（フリーダイヤル）

受付時間：月～金 9:00～18:00 <http://www.zometa.jp>



放射線療法による白血球減少抑制剤

生物由来製品
指定医薬品
処方せん医薬品^{注)}

薬価基準収載

アンサー[®]皮下注20 μ g

Ancer[®] S.C.Injection 20 μ g

注) 医師等の処方せんにより使用すること

- 「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等
詳細については、製品添付文書をご参照ください。



〔製造販売元〕〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11

ゼリア新薬工業株式会社

〔資料請求先〕医薬マーケティング部 ☎03(3661)0277



オキサゾリジノン系合成抗菌剤

処方せん医薬品 注意 医師等の処方せんにより使用すること

ザイボックス[®] 注射液600mg
錠600mg

ZYVOX[®] (一般名:リネゾリド) 略号: LZD

薬価基準収載

■効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等
につきましては添付文書をご参照ください。

製造販売

ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

資料請求先: 製品情報センター

2010年2月作成

大塚の主な栄養輸液製品

高カロリー輸液用 糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン・微量元素液

処方せん医薬品*

エルネオパ[®] 1号 輸液

ELNEOPA[®] No.1 Injection

薬価基準収載

*：注意—医師等の処方せんにより使用すること



処方せん医薬品*

エルネオパ[®] 2号 輸液

ELNEOPA[®] No.2 Injection

薬価基準収載

*：注意—医師等の処方せんにより使用すること



ビタミンB1・糖・電解質・アミノ酸液

処方せん医薬品*

ビーフリッド[®] 輸液

BFLUID[®] Injection

薬価基準収載

*：注意—医師等の処方せんにより使用すること



◇効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、製品添付文書をご参照ください。



販売提携 大塚製薬株式会社 東京都千代田区神田司町2-9

製造販売元 株式会社大塚製薬工場 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

資料請求先

株式会社大塚製薬工場 学術部

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-9

(10.07作成)

Carnelian[®] MARVEL Micro Catheter

更なる less invasive へ。
Something new なシステム提案を
発信する2タイプです。

高度な血管選択性能と、高いフローレート性能を兼ね備えた
“Hybird” パフォーマンスを実現しました。

Carnelian[®] Micro Catheter

新しくブレード素材にタングステンを採用し、
カテーテルシャフトの
程よい視認性を付加しました。

Carnelian[®] PIXIE[®] Micro Catheter

製造発売元／株式会社
東海メディカルプロダクツ
本社／〒486-0808 愛知県春日井市田楽町更屋敷1485
TEL 0568-81-7954 FAX 0568-81-7785

一般の名称／中心循環系マイクロカテーテル
承認番号／21600bzz00094000
高度管理医療機器(クラス4)
単回使用

販売名／TMPマイクロカテーテル
特定保険医療材料請求分類
1マーカ-:血管造影用マイクロカテーテル/オーバーザワイヤ/
選択的アプローチ型/ブレードあり(OSB)

販売名：マイクロカテーテル
承認番号：21700BZZ00138000

選択的アプローチ型マイクロカテーテル

SIRABE

MICRO CATHETER SYSTEM

ULTRA SELECTIVE



- 最先端部Taper Tip加工によるストレスフリーの追従性
- 段差のないFlat Marker構造によるスムーズな選択性
- 先端外径2.0Fr. (X線不透過部) によるUltra Selectiveを実現
- シリコーンコートPTFEライナーによる優れた内腔潤滑性
- 調和を重視したシャフトバランス Velvet Feeling
- ガイドワイヤーの挿入性を向上した新クリアハブを採用

【製造販売元】

PIOLAX

株式会社 パイオラックス メディカル デバイス

横浜市保土ヶ谷区狩場町179 TEL.045-710-1570 (代) <http://www.piolax-md.co.jp/>



Orca CV Kit

ガイドワイヤーが使える、
独自のバルブを備えたCVポートキット

薬液注入時



未使用時



ガイドワイヤー挿入時



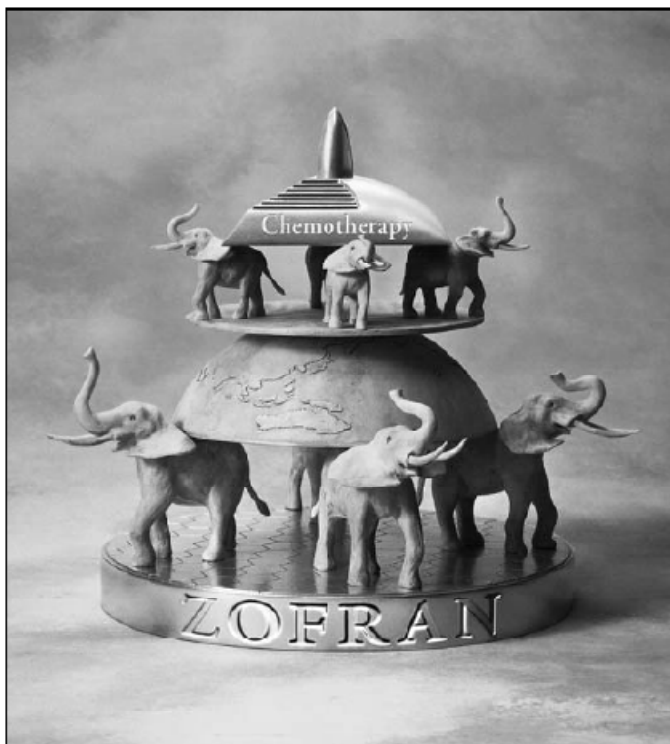
住友ベークライト株式会社

医療機器事業部

医療機器営業部	〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル	TEL.03(5462)4824
大阪営業部	〒661-8588 尼崎市東塚口町 2-3-47	TEL.06(6429)7932
名古屋営業部	〒465-0024 名古屋市名東区本郷 3-71	TEL.052(726)8381
札幌営業部	〒061-3242 石狩市新港中央 2-763-7	TEL.0133(60)2400
仙台営業部	〒981-3133 仙台市泉区泉中央 1-7-1 地下鉄泉中央駅ビル	TEL.022(371)5907
広島営業部	〒730-0029 広島市中区三川町 2-6 くれしん広島ビル	TEL.082(542)1381
福岡営業部	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-20-1 大博多ビル	TEL.092(411)1354

販売名: IVカテーテル
医療機器承認番号: 21800BZZ10076000

<http://www.sumibe.co.jp/medical/>



5-HT₃受容体拮抗型制吐剤

薬価基準収載

劇薬 処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

ゾフラン®

注2・注4・錠2・錠4・サイテイス4・小児用シロップ0.05%

Zofran® inj. Tabs. Zydys Syrup

一般名 オンダンセトロン塩酸塩（注2・注4・錠2・錠4・小児用シロップ0.05%）／オンダンセトロン（サイテイス4）

● 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

資料請求先

グラクソ・スミスクライン 株式会社

〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15 GSKビル
http://www.glaxosmithkline.co.jp

2010年3月作成



選択的NK₁受容体拮抗型制吐剤

薬価基準収載

イメント®

カプセル125mg
カプセル80mg
カプセルセット

アプレピタントカプセル
処方せん医薬品®

EMEND®

注）注意—医師等の処方せんにより使用すること
© Trademark of Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.

● 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等、詳細は製品添付文書をご参照ください。

資料請求先



小野薬品工業株式会社

〒541-8564 大阪市中央区久太郎町1丁目8番2号

100901



肝細胞癌治療剤

劇薬・処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

薬価基準収載

ミリプラ[®] 動注用 **70mg**
MIRIPLA[®] 注射用ミリプラチン水和物

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）

大日本住友製薬株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

〈製品に関するお問い合わせ先〉

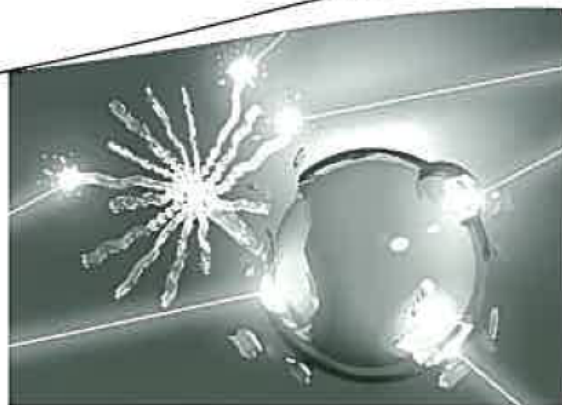
くすり情報センター

☎0120-034-389

受付時間／月～金 9:00～18:30（祝・祭日を除く）

【医療情報サイト】<http://ds-pharma.jp/>

2010.4作成



カンディン系抗真菌剤（注射用ミカファンギンナトリウム） 薬価基準収載

ファンガード[®] 点滴用 **25mg**
50mg
75mg

劇薬、処方せん医薬品
（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

Funguard[®]

（略号：MCFG）

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売 **アステラス製薬株式会社**
東京都板橋区蓮根3-17-1

〔資料請求先〕 本社／東京都中央区日本橋本町2-3-11

09/4作成 A4/1/2 E 01

Target cancer

commitment in action

サノフィ・アベンティスは、これからもがんと闘い続けていきます。

がん細胞の発生や増殖メカニズムの解明、
がんの種類や進行状況による治療法の探求、
そして、早期発見・早期治療のための疾患啓発活動。

わたしたちは、あらゆる面に全力で取り組んでいきます。

患者さんやそのご家族の「Life」に、
昨日とは違う何かを生み出すために。

サノフィ・アベンティス株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー
http://www.sanofi-aventis.co.jp

sanofi aventis

Because health matters

人も地球も健康に

Yakult

薬価基準収載

抗悪性腫瘍剤（イリノテカン塩酸塩水和物）
劇薬・処方せん医薬品※

カンブド® 点滴静注 40mg
100mg

活性型葉酸製剤（レボホリナートカルシウム）
処方せん医薬品※

レボホリナート 点滴静注 25mg
100mg「ヤクルト」

抗悪性腫瘍剤（オキサリプラチン）
毒薬・処方せん医薬品※

エルプラット® 点滴静注 50mg
100mg

代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤（ゲムシタビン塩酸塩）
劇薬・処方せん医薬品※

ゲムシタビン 点滴静注 200mg
1g「ヤクルト」

遺伝子組換えヒトG-CSF誘導体制剤
（ナルトグラスチム（遺伝子組換え））
処方せん医薬品※

ノイアップ® 注 25 100
50 250

5-HT₂受容体拮抗性制吐剤（インジセロン塩酸塩）
劇薬・処方せん医薬品※

シンセロン® 錠 8mg

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

●「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

〈資料請求先〉

株式会社ヤクルト本社

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-21 銀座木挽ビル
☎0120-589601（医薬学術部 くすり相談室）

2010年6月作成



世界69カ国で販売しております。

【 オブチレイ®は、
コヴィディエン ジャパンの
造影剤です。 】

Optiray®

「タイコ ヘルスケア ジャパン株式会社」は、「コヴィディエン ジャパン株式会社」に社名を変更いたしました。

非イオン性造影剤〈イオベルソール注射液〉処方せん医薬品*

薬価基準収載

オブチレイ®160注 50・100mL

オブチレイ®240注 シリンジ 100mL

オブチレイ®240注 100mL

オブチレイ®320注 シリンジ 40・50・75・100mL

オブチレイ®320注 20・50・75・100mL

オブチレイ®350注 シリンジ 50・100mL

オブチレイ®350注 20・50・100mL

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

製造販売元

コヴィディエン ジャパン株式会社

医薬品事業部

〈資料請求先〉〒158-0097 東京都世田谷区用賀2-39-11
フリーコール 0120-011-602



COVIDIEN

positive results for life®

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については最新の添付文書をご参照ください。

COVIDIEN、COVIDIENロゴマーク及び“positive results for life”はCovidien AGの商標です。®を付記した商標はCovidien companyの商標です。©2010 Covidien.

1001 A4-1/2

広告・協賛企業

アステラス製薬株式会社
アストラゼネカ株式会社
エーザイ株式会社
小野薬品工業株式会社
カナヤ医科器械株式会社
株式会社大塚製薬工場
株式会社ツムラ
株式会社東海メディカルプロダクツ
株式会社パイオラックスメディカルデバイス
株式会社メディコスヒラタ
株式会社ヤクルト本社
グラクソ・スミスクライン株式会社
コヴェディエンジャパン株式会社
サノフィ・アベンティス株式会社
塩野義製薬株式会社
住友ベークライト株式会社
ゼリア新薬工業株式会社
第一三共株式会社
大日本住友製薬株式会社
大鵬薬品工業株式会社
中外製薬株式会社
テルモ株式会社
東芝メディカルシステムズ株式会社
鳥居薬品株式会社
日本イーライリリー株式会社
日本化薬株式会社
ノバルティスファーマ株式会社
バイエル薬品株式会社
ファイザー株式会社
富士フイルム RI ファーマ株式会社
メディケア株式会社

(順不同)